

北浜東小学校 実践報告

I. 実践内容

本校では、夏の校内研修において外国語活動についての授業講座を行った。2020年度からの新学習指導要領全面実施、高学年の外国語科、中学年から外国語活動実施に向け、今まで以上に外国語の授業を行う教員が増えていくと考えたためである。外国語活動にかかわる最近の動向や授業の組み立て方などを外国語活動主任中心にワークショップ型で研修を行った。

<研修の流れと内容について>

- (1) 新指導要領各学年の目標～現行指導要領との違いを視点として～
 - ・ 中学年の目標は、「聞いたり、話したりすることを中心としたコミュニケーション能力の素地を育成する。」
 - ・ 高学年の目標は、「聞いたり、話したりすることに加えて、読んだり書いたりすることの態度の育成を含めたコミュニケーション能力の基礎。」
- (2) 外国語活動に関する今後のスケジュール
- (3) 外国語活動の授業の組み立て方
 - ① 単元の組み立て方
 - ・ 単元の目標にあったコミュニケーション活動を授業の中心に据える。
 - ・ 慣れ親しむ活動（語彙や表現を INPUT する）から徐々に語彙や表現を自分のものにしていくような流れを意識したい。
 - ② 1時間の授業の流し方
 - ・ 本時のねらいにそった活動を考えることを重視する。「思わず聞きたくなる活動」「思わず言いたくなる活動」「言いたいことを英語で伝える必然性のある活動」などを取り入れる。
 - ③ 好きな色ランキング（ワークショップ型で）
- (4) Classroom English について
- (5) ALT の活用について
- (6) 英語教育推進リーダー中央研修（小学校）DVD教材の視聴

II. 成果と課題

- ・ 具体的な活動内容を紹介し、職員みんなで子供役になって外国語活動の模擬授業をすることで体験的に学ぶことができ、好評だった。
- ・ 英語で行う授業にほとんどの教員が不安感をもっているため、外国語活動担当が先頭にたって英語での表現方法や Activities などを随時紹介していくことの必要性を感じた。

（文責 牧野香）